

# グローバルCBファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)

追加型投信／内外／債券

## 交付運用報告書

(作成対象期間 2016年6月11日～2016年12月12日)

第55期(決算日 2016年7月11日) 第58期(決算日 2016年10月11日)

第56期(決算日 2016年8月10日) 第59期(決算日 2016年11月10日)

第57期(決算日 2016年9月12日) 第60期(決算日 2016年12月12日)

当作成期末	
基準価額	9,269円
純資産総額	15百万円
騰落率	25.3%
分配金合計	600円

(注1)以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2)騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等に投資しました。また、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### お問い合わせ先

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

PCサイト <http://www.smtam.jp/>

モバイルサイト <http://m.smtam.jp/>

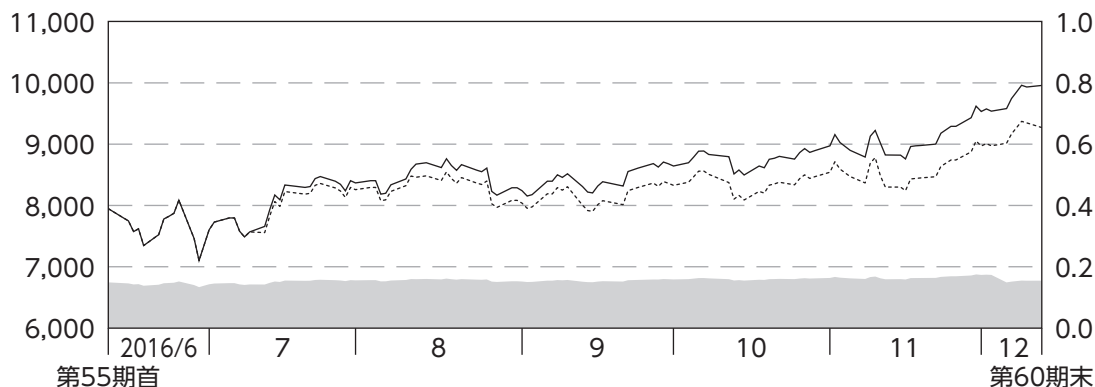
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記PCサイトにアクセスし、「ファンドを検索する」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過の説明

### 1 基準価額等の推移



■ 純資産総額(億円)(右軸) — 分配金再投資基準価額(左軸)  
 ..... 基準価額(円)(左軸)

第55期首:7,948円

第60期末:9,269円(既払分配金600円)

騰落率:25.3%(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2016年6月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

### 2 基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

組入ファンド	投資資産	当作成対象期間末 組入比率	騰落率
SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス	世界のCB等	98.7%	26.6%
短期金融資産 マザーファンド	短期金融資産等	0.1%	△0.0%

## 運用経過の説明

### 3 1万口当たりの費用明細

項目	当作成期		項目の概要
	(2016年6月11日～2016年12月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	44円	0.525%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は8,288円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(14)	(0.164)	
(販売会社)	(29)	(0.345)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(商品)	(—)	(—)	
(先物・オプション)	(—)	(—)	
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(—)	(—)	
(新株予約権証券)	(—)	(—)	
(オプション証券等)	(—)	(—)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(—)	(—)	
(公社債)	(—)	(—)	
(投資信託証券)	(—)	(—)	
(d) その他費用	0	0.002	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(—)	(—)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	44	0.527	

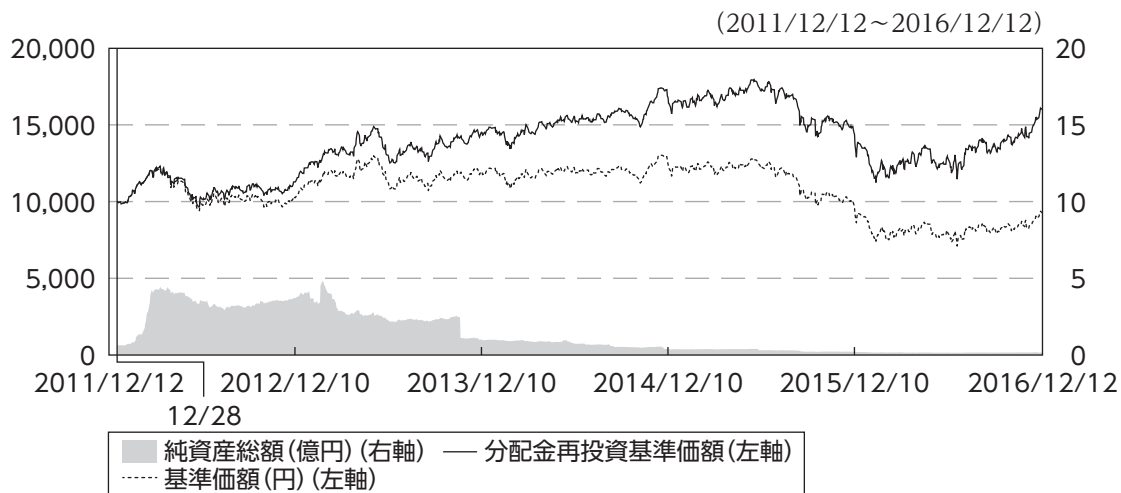
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2011年12月28日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2011年12月28日 設定日	2012年12月10日 決算日	2013年12月10日 決算日	2014年12月10日 決算日	2015年12月10日 決算日	2016年12月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,259	11,914	12,461	9,621	9,269
期間分配金合計(税引前) (円)	—	1,000	1,200	1,200	1,200	1,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	12.9	28.6	15.6	△14.2	11.6
純資産総額 (百万円)	63	369	100	37	20	15

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

## 運用経過の説明

---

### 5 投資環境

---

#### CB市場

当作成期は、英国のEU(欧州連合)離脱が決定すると金融市場は混乱し、CB市場も下落して始まりました。しかしながら、市場は落ち着きを取り戻し、先進国の中央銀行に対する政策期待などもあり、夏場にかけてCB市場は反発しました。その後は、堅調に推移するグローバル株式市場がプラスに働く一方、米国をはじめ世界的に金利が上昇傾向となったことがマイナスに影響し、CB市場は一進一退の展開となり、当作成期を通じた騰落率はプラスとなりました。

#### 為替市場

当作成期半ばにかけては、一進一退の展開が続きましたが、米国大統領選挙の結果を受けたリスク選好の円安圧力を背景に、南アフリカランドは、当作成期末にかけ対円で上昇しました。

### 6 当ファンドのポートフォリオ

---

#### ○当ファンド

「SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」への投資を高位に保つ運用を行いました。

#### ・「SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」

日本や新興国を含む世界の企業が発行するCB等の中から、流動性、発行体リスクなどを考慮して、銘柄選択を行いました。米ドル建以外のCB等へ投資した場合、対米ドルでの為替取引を行いました。その上で、原則として、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行いました。

<投資対象ファンドについては、各運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

## 運用経過の説明

### 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

### 8 分配金

分配金額は、各期ごとの経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第55期	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
	2016年6月11日～ 2016年7月11日	2016年7月12日～ 2016年8月10日	2016年8月11日～ 2016年9月12日	2016年9月13日～ 2016年10月11日	2016年10月12日～ 2016年11月10日	2016年11月11日～ 2016年12月12日
当期分配金 (円)	100	100	100	100	100	100
(対基準価額比率) (%)	(1.306)	(1.168)	(1.234)	(1.180)	(1.165)	(1.067)
当期の収益 (円)	48	57	49	56	55	57
当期の収益以外 (円)	52	42	50	43	44	42
翌期繰越分配対象額 (円)	3,286	3,243	3,192	3,149	3,104	3,063

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

---

### ○当ファンド

「SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス」への投資を通じ、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等へ実質的に投資します。

#### ・SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス

主に日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債等へ投資し、投資信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

転換社債等の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

米ドル建て以外の転換社債等へ投資した場合、原則として対米ドルでの為替取引を行います。その上で、外国為替予約取引、為替先物取引等を活用し、原則として、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。

#### ・短期金融資産 マザーファンド

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

## お知らせ

---

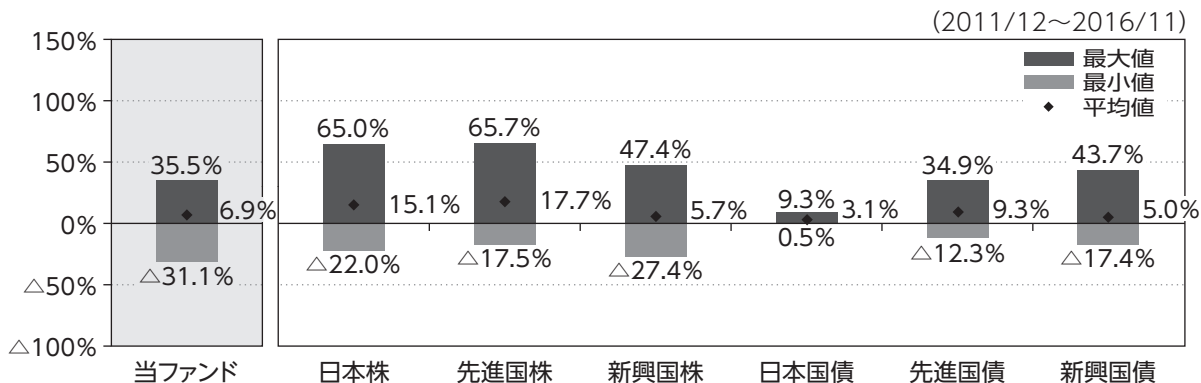
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	信託期間は2011年12月28日から2021年12月10日までです。
運用方針	主として、円建外国投資信託受益証券である「SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス」を通じて日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等に投資し、投資信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 1.SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス 2.短期金融資産 マザーファンド
運用方法	「SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス」への投資を通じ、主として、日本や新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等へ実質的に投資します。 また、米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。
分配方針	原則として、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益の分配を目指します。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)の全額とします。 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 当ファンドについては2012年12月～2016年11月(5年未満)、他の代表的な資産クラスについては2011年12月～2016年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。  
 (注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。  
 (注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(東証株価指数、配当込み)<sup>\*1</sup>

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>\*2</sup>

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>\*3</sup>

日本国債・・・NOMURA-BPI国債<sup>\*4</sup>

先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<sup>\*5</sup>

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)<sup>\*6</sup>

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

- ※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ※4 NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社が、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ※5 シティ世界国債インデックスとは、Citigroup Index LLCが開発した、世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。なお、Citigroup Index LLCは、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 当ファンドのデータ

### 1 当ファンドの組入資産の内容

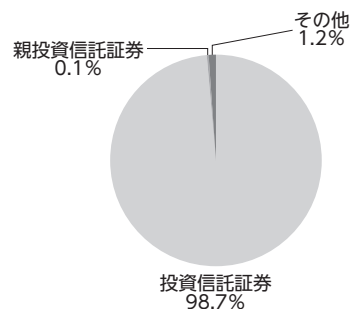
#### ○組入ファンド

	当作成期末
	2016年12月12日
SMT グローバルCBファンドー南アフリカランドクラス	98.7%
短期金融資産 マザーファンド	0.1%
その他	1.2%
組入ファンド数	2

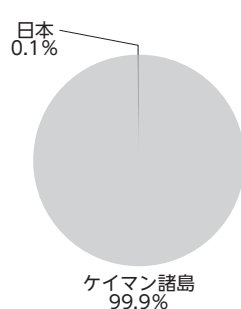
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

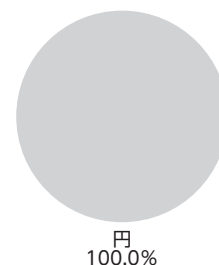
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

### 2 純資産等

項目	第55期末	第56期末	第57期末	第58期末	第59期末	第60期末
	2016年7月11日	2016年8月10日	2016年9月12日	2016年10月11日	2016年11月10日	2016年12月12日
純資産総額	14,188,166円	15,927,423円	15,100,553円	15,931,197円	16,219,841円	15,443,404円
受益権総口数	18,776,064口	18,828,545口	18,865,426口	19,032,171口	19,119,856口	16,661,168口
1万口当たり基準価額	7,557円	8,459円	8,004円	8,371円	8,483円	9,269円

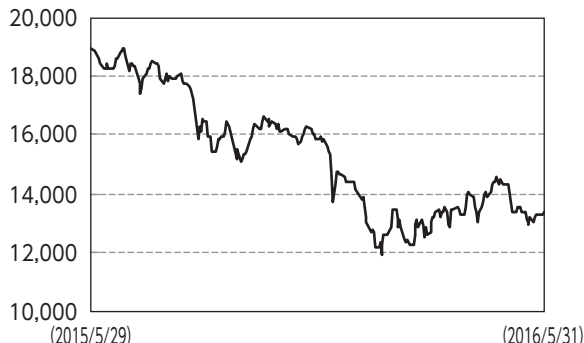
※当作成期間(第55期～第60期)中における追加設定元本額は924,027円、同解約元本額は3,000,567円です。

## 当ファンドのデータ

### 3 組入ファンドの概要

#### SMT グローバルCBファンド－南アフリカランドクラス

##### ○基準価額の推移 (円)



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	Wells Fargo / Wachovia \$75 Perp	アメリカ	2.1%
2	Priceline Group 0.9% 2021	アメリカ	2.0%
3	STMicroelectronics 0% 2019	フランス	1.7%
4	Time Warner/Chtr (Liberty Interactive) 0.75% 2043	アメリカ	1.7%
5	Stoxx Europe(SG) "Zero" 5 Mar 18	—	1.5%
6	Cemex 3.75% 2018	メキシコ	1.4%

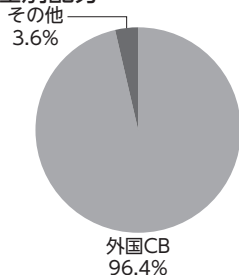
##### ○1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

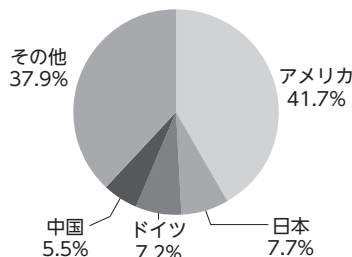
順位	銘柄名	国	組入比率
7	PepsiCo(BNP) 0% 2017	アメリカ	1.4%
8	S&P 500 Total(SG) 0% 2019	アメリカ	1.4%
9	Siemens Unit 1.65% 2019	ドイツ	1.3%
10	Fortis `CASHES` Perpetual	ベルギー	1.3%
組入銘柄数			124

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

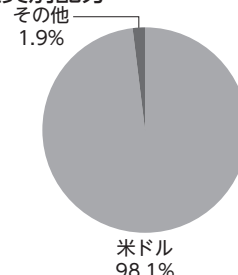
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年5月31日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

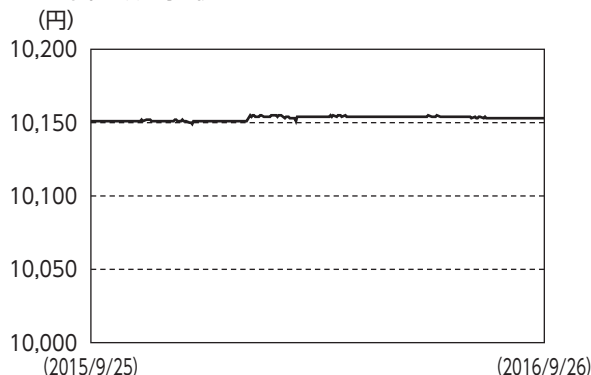
※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは実質投資先であるSMT グローバルCBファンド全体の内容を記載しています。  
※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

## 当ファンドのデータ

### 3 組入ファンドの概要

#### 短期金融資産 マザーファンド

##### ○基準価額の推移



##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国	組入比率
1	第869回政府保証公営企業債券	日本	7.9%
2	第19回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	日本	6.2%
3	第871回政府保証公営企業債券	日本	5.6%
4	第3回政府保証西日本高速道路債券	日本	3.1%
5	第6回政府保証東日本高速道路債券	日本	2.7%
6	第310回中国電力株式会社債	日本	1.3%

##### ○1万口当たりの費用明細

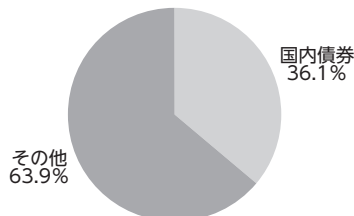
(2015年9月26日~2016年9月26日)

項目	
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

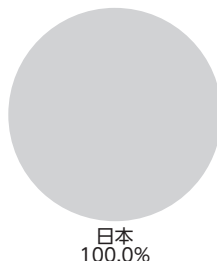
順位	銘柄名	国	組入比率
7	第306回中国電力株式会社債	日本	1.3%
8	第8回政府保証西日本高速道路債券	日本	1.3%
9	平成18年度第6回静岡県公募公債	日本	1.3%
10	第10回政府保証中日本高速道路債券	日本	1.3%
組入銘柄数			13

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

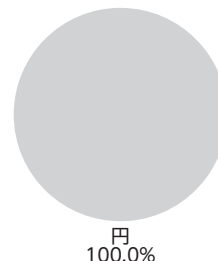
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2016年9月26日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。